２０２４（令和６）年
１月２２日（月）発行

見守り隊かわら版

Ｒ５－３

辰口中央小学校見守り隊
能美市辰口町７３５番地
☎ ０７６１－５１－２００９

＊能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。

地域(見守り隊)と保護者(育友会)が連携

和気小学校 見守り隊

和気っ子見守り隊

これまで和気小学校でも登下校の見守り活動がおこなわれてきました。15年前の２００８（平成20）年には、児童数１５０人に28名の見守り隊登録者がいました。すべての人が毎日活動していたわけではありませんが、それなりに見守り隊として機能していました。

また和気小学校児童の多くを占める和光台の通学路には毎日民生児童委員の方が立ってくださり、児童の安全が確保されていました。

しかし、高齢化により隊員数は減少していくことになります。

【気をつけてね】

「見守り活動が続けられない」

隊員数の減少に加えて、見守り隊に新しい問題がでてきました。

２０２０（令和２）年、和気小学校も新型ウィルス禍で休校になり、不足した授業を補うために夏休みが短縮されました。８月20日、夏の猛暑が続く中で２学期が始まり、高齢の見守り隊員に熱中症を訴える人がでます。見守り隊から学校に、「人がおらず見守り活動が続けられない」との連絡も入りました。民生児童委員や知人に頼んで、その場は何とかしのぐことができました。

生みの苦しみ

２学期に開催された学校運営協議会で、「保護者が見守り活動に参加しないのはおかしいのではないか」という発言がありました。これを受けて、学校・育友会（ＰＴＡ）・運営協議会の３者で話し合っていくことになります。「生みの苦しみ」の始まりです。

＊見守り隊の再生に尽力された和気小学校運営協議会ＣＳディレクターの小路雅広さん【写真】にお聞きしました。

育友会役員会や総会に参加して、見守り隊の現状や課題を説明し、保護者の協力をお願いしました。

当初は、「仕事があるので朝は無理。下校時も途中で会社をぬけ出せない。」とか、「皆でお金を出し合ってシルバー人材に依頼してはどうか」など、否定的な意見が多く出されました。苦しいときもありましたが、学校とも相談しながらねばり強くすすめていきました。

やがて「保護者で当番制にしてやればいい」という声が出るようになり、その方向で調整していくことになりました。

地域と保護者が連携して

新しい見守り活動が２０２２（令和４）年の５月から始まりました。和気小学校児童の９割が渡る和光台近くの横断歩道で全保護者が当番制で見守り活動をすることになったのです。

新しく募集に応じた見守り隊員も加わって、他町での見守り活動もおこなわれています。

【新しい見守り活動】

＊能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

気をつけたい 冬期の見守り活動

何かとあわただしい年末年始を過ごし、冬休みを終えた子どもたちが学校へもどってきました。見守り隊のみなさんには３学期もよろしくお願いいたします。

日本海側に住むわたしたちには避けて通れない降雪の冬に入っています。吹雪の日もあれば、氷が張るような凍てつく日もあります。通学路には冬だからこそ気をつけたい危険がたくさんあります。

見守り活動時に気をつけたいことを少しまとめてみました。

○スリップの危険
雪道では人も車も滑ります

○落雪の危険
屋根の下を通るときは

○用水路転落の危険
風の強い日
凍結の日は注意

○カーブミラーの凍結
確認不足のまま車が出てくることも

○傘で視界が・・・
風の強い日はとくに危険

＊雪国にお住いのみなさんに、お釈迦様に説法をするようなことをまとめました。
すみませーん!

太平洋側の地域に雪が数cm降ったといってテレビが大騒ぎしているのを見ると、不謹慎かもしれませんが思わず笑ってしまいます。

しかし、雪道に慣れたつもりでいるわたしたちも雪による事故は人ごとではありません。ご用心、ご用心。

寒さに備えて

帽　子
寒さ対策＋頭部保護

マスク・襟巻き
寒さを防ぐのに有効

携帯カイロ
体調に合わせて

服　装
寒さ対策＋雨の日は雨具（傘、合羽）

手　袋
寒さ対策＋けが防止

はき物
ゴム長靴、防水シューズなど

寒さの厳しい日もあります。
自分の体調に合わせて活動しましょう